

## (9) 高谷子ども会野球部

## 市川ジュニアBリーグに思うこと

柏井リーグについて、少しではありますが子供のことを書きたいと思います。

当チームは地域の子供会のため、1つの小学校からの入部になります、それが故に昨今の野球離れもてつだい1年生から4年生までの混成チームになります。

昨年からヘッドコーチ、今年度は監督と柏井球場には私自身は2年間お世話になっていますが、思いでもいっぱいです。

そんな思い出の中の少しをお話させていただきます。

通称柏井リーグ、エンジョイベースボール、今年日本一になった千葉ロッテマリーンズのバレンタイン監督が良く言う言葉です。

さてエンジョイベースボール、私は柏井リーグにとっても合う言葉だと思います。

ここでまず私の話から、私の性格上、勝負事は勝たなければ気がすまない性格なのですが、柏井リーグのおかげさまで人間的にも一回り大きくさせていただいたと思います。

勝敗にこだわらず楽しくのんびり野球が出来たことを大変感謝させていただいています。今までの自分でしたら勝つことばかり考えていたかもしれません。

今低学年は勝つことよりも、野球をする自分に自信を持つ、分かりづらいたでしょうが当チームの子供は入部当初、声も小さく感情をおもてに出せない子供が多く

田舎育ちの私にはカルチャーショック受けたのを今でも思い出します。

毎週柏井リーグの試合がありますと、子供達も他チームの選手と対戦したり見たりする機会が多くなります、そうすることによって少しずつ変化が出てきます、

声を出すことが普通に出来るようになっていき、それが朝大きな声で挨拶できるようになっていきます、これはいくら大人が言っても上っ面の挨拶しかしない

子供がごく普通に出来るようになる凄いことだと私は思います、人間が生活するなかで私は一番大切なことが挨拶だと思っているからです。

野球をする子供が成長するのに大切なこと1番大切なのが環境。

昨今私の地域も残念ながら、子供がキャッチボールをする場所も無いのが現状です。

私の中には1人でも練習がしたい子供がいれば練習をする、そんなことが今年の夏現実に起きました、夏休み期間中、当チームのグラウンドが改修工事の為

使えなくなった時の事、柏井球場をお借りして練習をさせていただきましたが、子供達の練習の時の目の色が違ったのに驚きました。

柏井リーグの試合球場で練習をする、感覚的には高校生が甲子園で練習をするのに近いのかもしれませんが。

これも柏井リーグの効果かもしれません、昨年まででしたらすぐ気持ちが悪くなったりしていた子供がボールに飛び込んだり、大人がビックリするようなプレーをします。

柏井リーグをこなしていくうちに、子供達の中に少数ですが試合に勝ちたいと真剣に思う子供が出てきています、そうゆう子供は自主練習も真面目にやっています、

これも柏井リーグ効果だと私は思っています、その子は昨年まで試合で負けて泣いていた子供です。

監督としてはトーナメント大会には出来るだけベストメンバーで試合を進めて行きたいと思っていますし、現実そうなっています

そんな中、柏井リーグがありますと普段スタメンで出られない選手をスタメンで出場させたり、いつもとは違うポジションにつかせたり大変楽しい野球ができる場所です。

最後に一人の親として我が子のことについて書かせていただきたいと思います

私の息子は3年生から野球を始めました、昨年リーキーの時代に1勝も出来ない、チーム事情により投手をさせていましたがサヨナラファールボールの連続で

毎試合泣いていました、今年4年生になり柏井リーグで毎試合登板する機会が増え投手として大きく成長した、我が子が今ここにいます

マウンド上で堂々としている我が子を見ると柏井リーグには親として大変感謝しています。

どのお宅でもそうですが今年1年で柏井リーグ通して野球選手として1人の男として、昨年より1回り大きくなった少年が我がチームには沢山います。